



健康維持のために

けんこうtime推進店登録

原信とナルスでは、新潟県が推進している健康づくり県民運動「ヘルスプロモーションプロジェクト」の食生活の取り組み「からだがよるこぶデリ」を新潟県内店舗で販売しています。新潟県独自の「おいしくてからだがよるこぶ」基準を満たした惣菜3品が「からだがよるこぶデリ」の主菜として登録されています。



花角新潟県知事らによる試食会

スマートミール認証の取得

スマートミール認証は、厚生労働省の定める基準等を基に栄養バランスのとれた食事(スマートミール)を提供する事業者を認証する制度です。

原信とナルスでは「健康な食事・食環境」コンソーシアム様の審査により、スマートミール最高ランクの☆3の認証を取得しました。



栄養バランスの基準を満たしたお弁当

原信・ナルス ウォーキングDAY

原信とナルスでは、お客様の健康を運動でサポートする「原信・ナルス ウォーキングDAY」を開催しております。

(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止)



ウォーキングDAYのようす

「にいがた健康経営推進企業」認定

新潟県では、従業員などの健康づくりに積極的に取り組む企業を「にいがた健康経営推進企業」として登録し、取り組みを支援しています。

原信とナルスでは、2019年11月に「にいがた健康経営推進企業」に登録されました。従業員が健康でいきいきと働くことができるよう、働く世代の健康づくりの促進を図っています。



「にいがた健康経営推進企業」登録証



未来を変える人を育む

私たちは、米百俵の精神を受け継ぎ、社外の皆様と協力しながら人づくりに力を注いでいます。世界には平和、環境など様々な問題がありますが、これらを身近な問題と捉え解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことがSDGsの達成には不可欠です。多くの子供たちに学校の枠組みを超えた教育の機会を提供することで、これからの社会づくりの担い手を育むことを目指します。

職場体験

各学校と連携し、店舗で職場体験の受け入れを行っています。店舗で実際に作業を体験することで、仕事の面白さや大変さを実感できる機会となっています。「進路を考えるきっかけになった」「普段買い物しているだけではわからない様々な工夫や働き方を知ることができた」と体験後の声が寄せられています。



商品の陳列作業

インターンシップ

仕事の実体験を通じて当社の企業活動や社会的役割、チェーンストアの目的を知るためにインターンシップを受け入れています。夏季、冬季休暇を利用したコースに加えて、WEBを使って説明や商品開発体験ができるプログラムも実施しました。期間も1日～3日と選択の幅を拡げ、店舗でのチーフや店長業務を体験したり、WEBを利用しサラダや惣菜品の商品開発提案をグループワークで演習しました。当社の開発ストーリーやTQM事例を学ぶことでより実践的なプログラムを実施することができ100名を超える多くの学生から参加いただきました。



米百俵未来塾協賛

アクシアル リテイリングでは、次代を担う長岡の子どもたちが、長岡の誇りを胸に、自らの力で未来を切り拓き、創り出すための学びの場である「米百俵未来塾」に協賛しています。小学生と中学生が、学年や学校の垣根を越え、多様な分野について学ぶことを応援しています。

原信サマースカラシップ

原信では、1991年より高校生を対象とした「原信サマースカラシップ」を行っています。日米の高校生がお互いの家庭にホームステイをして、両国の文化について理解を深めるプログラムです。

「違いや共通点を発見する」「そのことに感動する」「なぜ違いや共通点が生まれたのか原因を考える」を身に付けることを目的としており、渡航費などを当社が支援することで、多くの生徒たちが世界を知るチャンスがあります。

(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止)



第28回プログラムメンバー

公益財団法人 長岡社奨学会

新潟県の教育振興や県民福祉増進への寄与を事業目的とする長岡社奨学会の運営を支援しています。

学資貸与または給付のほか、地域の文化・教育・スポーツ・国際交流などへの資金援助も行っています。

詳細はこちらから

<https://www.harashinnarus.jp/nagaokasya/>





仕事と家庭のバランスを

私たちは、仕事と家庭が両立できる職場環境を整えます。また手間をかけずバランスのよい食事がとれる即食・時短・簡便な商品の品揃えをすることで、女性の家事負担を減らすことを目指します。

くるみん認定

次世代育成支援対策推進法にもとづき厚生労働大臣が企業に対して行う認定で「子育てサポート企業」として3505社(2021年1月末時点)が認定されています。

ナルスでは2013年に、原信は2017年にくるみん認定を受けました。今後も、仕事と子育てを両立させることができ、従業員が働きやすく、その能力を十分に発揮できる職場環境を整備するため、取り組んでまいります。



くるみんマーク

ハッピー・パートナー企業登録

新潟県では、仕事と家庭生活などが両立できるよう職場環境を整え、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)」として認定しています。

原信とナルスは、ハッピー・パートナー企業であり、男女がともに働きやすいよう、職場の環境整備に取り組んでいます。

群馬県いきいきGカンパニー認証

群馬県では、育児・介護と仕事の両立、職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの推進等に取り組む県内事業所を、「群馬県いきいきGカンパニー」として認証しています。フレッセイではゴールド認証を取得し、女性の活躍、すべての従業員に働きやすい環境を整える環境づくりを推進しています。



群馬県いきいき
Gカンパニー認証書

育児介護休業制度

アクシアル リテイリングでは、育児や介護と仕事を両立し、働き続けることができるよう、法律に基づき育児介護休業制度を設けています。また原信とナルスでは、従業員向けに「出産・育児休業制度説明会」を開催しています。制度の説明の他に、育児休業を経て復帰した社員による体験談発表を行っています。一人として同じでない出産時の体験や復帰後の仕事と育児を両立のコツなど、経験者だからこそ話せる内容が毎回好評です。

女性だけでなく男性の育児休業取得への関心が高まっており、2020年度は原信で8名の男性が育児休業を取得しました。

従業員の声

良質な仕事は家庭から

よい仕事はよい家庭からと聞きます。妻が妊娠し、私も共に育児をしていきたいとの思いから育児休暇を取得しました。

初めての取得でしたが、ミルク担当、入浴担当、お散歩担当などの分担を決め、楽しみながら育児を担うことができ、休みを頂いたことに感謝しています。

これからも仕事と家庭を両立し、楽しんで子育てをしていきたいと思えます。



原信 寺沢店
青果部門チーフ 中村真之

ニューコンセプトII+^{ツープラス}

原信とナルスでは、お客様の環境変化に合わせて2010年から「ニューコンセプトII」として『新しい商品展開』『あかめけた売場』『生産性の向上』のテーマを設けたお店作りを開始し、2015年からは更なる『豊かさ・楽しさ・便利さ』をご提供する「ニューコンセプトII+」の展開を推進しています。

食生活の多様化に合わせたサラダ提案の充実や、健康ニーズに沿った魚惣菜の提案、簡単に調理ができる簡便商品の展開など、食シーンに合わせた商品づくりやライブ感あふれる売場づくりに取り組んでいます。



フレッセイMD2.0

フレッセイMD2.0は『美味しさ』『健康生活』『簡単・便利』の3つのキーワードをベースに2021年2月改装の南大類店にて更に進化しました。惣菜・ベーカリー部門では美味しさを更に追求し、店内製造にこだわった「具材の大きなおにぎり」や「自家製とろけるプリン」の販売を開始しました。また「おさかな惣菜」に水産部門の「極醸塩銀鮭」を使った「焼鮭」を展開したり、人気の「手造りおはぎ」で使用している「北海道産小豆使用あんこ」を使った「どら焼き」や「もなか」などを販売しました。



自家製とろけるプリン



おさかな惣菜



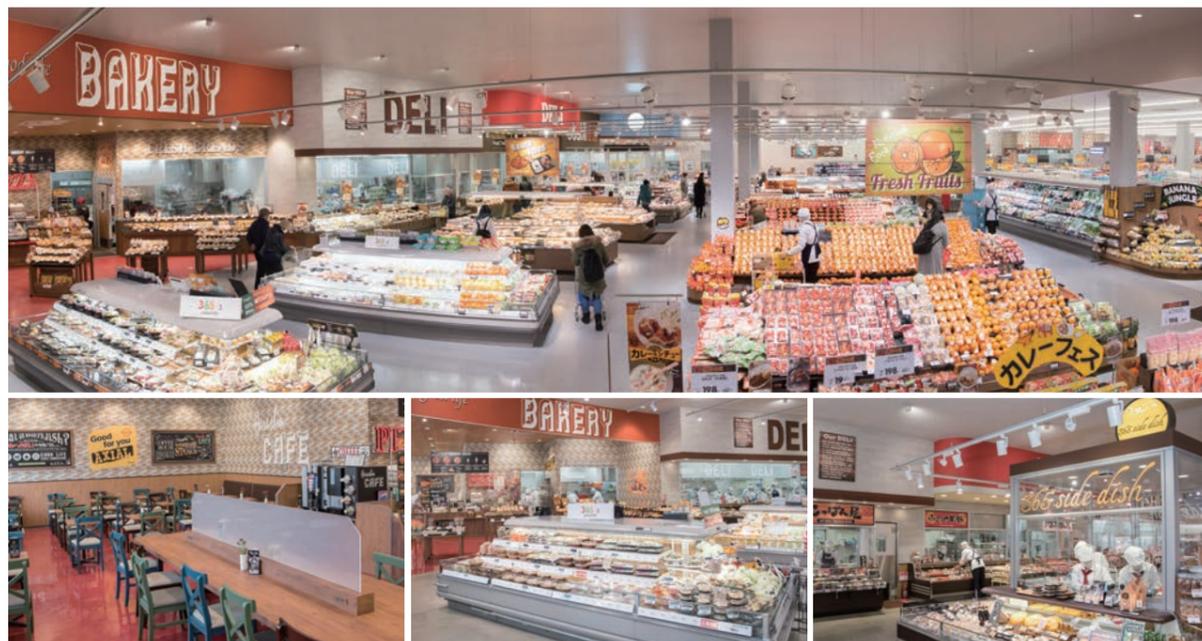
手造りおはぎ



仕事と家庭のバランスを

セントラルマーケット

セントラルマーケットは広い売場面積と駐車場と深い商圏をもつことを条件に、『専門性』『ライブ感』『情報発信』のコンセプトで幅広いお客様からご利用いただけるように商品と提案を磨きあげたお店です。現在「川崎店」「河渡店」「小出東店」の3店舗を展開しています。



エクスプレスマーケット

お手軽にお買い物ができるお店として、小商圏型のフォーマットをエクスプレスマーケットとして展開しています。現在「城岡店」と「旭岡店」の2店舗があります。



即食・簡便商品

即食・簡便需要にあわせた商品を展開しています。フライパン一つで調理ができる「Pa!とCOOK」、電子レンジで手軽に作れる「Pa!とDELI」などの商品の取り扱いを拡大しています。



Pa!とDELI



輸送エネルギーを減らす

電気やガス、ガソリンや軽油などのエネルギーは生活に不可欠ですが、気候変動を助長する最大の要素はエネルギーであり、全世界の温室効果ガス排出量の約60%を占めています。私たちは、物流に使われるエネルギーのムダをなくすことを目指します。

ロジスティクスの強化

お客様に安定的に、よりお求めやすい価格で商品をご提供できるよう、新潟県長岡市と上越市、群馬県前橋市の3か所に、DC(在庫型物流センター)、CHILDセンター(冷蔵物流センター)を配置しています。

また、ローリー中之島プロセスセンターでは、店舗での生鮮商品の製造を集約させることなどで、製造プロセスの効率化を行っています。

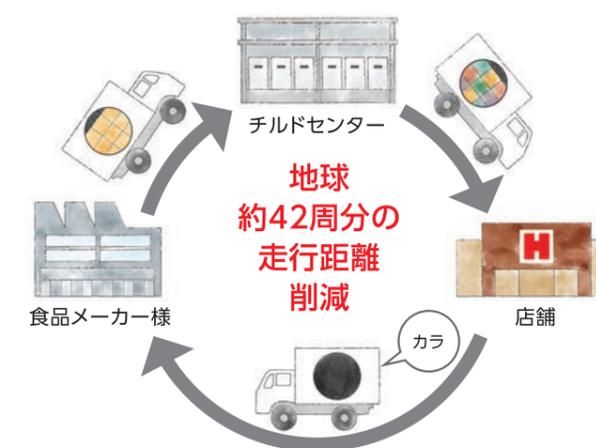
物流・製造の効率化により、エネルギーの削減になります。



物流におけるエネルギーの削減

アクシアル リテイリングでは、物流網全体で燃料が削減できる取り組みを進めています。

店舗に商品を配送したトラックが、その店舗近隣のお取引先様の工場に向かいます。そしてお取引先様の商品を積み込み、当社CHILDセンターに戻ってくることで、できる限り荷台が空の状態で走ることがないように取り組みをすすめています。



宅配便ロッカーの設置

宅配便ロッカー「PUDOステーション」(原信17店舗、ナルス2店舗、フレッセイ36店舗)、「Amazon Hub」(原信15店舗、フレッセイ11店舗)をアクシアル リテイリングの一部店舗店頭を設置しています。ご自宅で宅配便のお荷物を受け取ることが出来ない場合に、受け取り先とし店頭設置の宅配ロッカーを指定していただくことで、お客様へ待ち時間解消等の利便性を提供し、再配達・ドライバー不足問題など社会的な課題の解消に貢献しています。



Amazon Hub

PUDOステーション

現場改善のしくみ

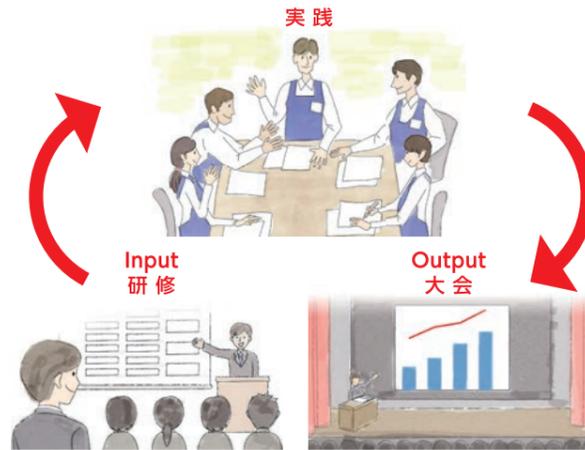
私たちは、TQM(Total Quality Management: 総合的品質管理)を経営の根幹に据え、お客様ご満足の
実現と現場の継続的な改善を目指します。

TQM(総合的品質管理)

TQM(Total Quality Management)は経営理念
を実現させるため、全員が一人ひとりの立場に応じて
よりよい仕事を継続的に行うための仕組みです。

中期経営計画に基づいた年度方針の達成に向け、
判断基準はお客様の姿勢でQCサークルやSUM※、
プロジェクト、委員会でも継続的に改善しています。

※Service(サービス)Up(アップ)のためのManagement(マネジメント)
活動の略。アクション リテイリング独自の用語。



2020年度 TQM活動での表彰

TQMの継続的実践が、外部機関より評価されての受賞となりました。
今後もお客様ご満足実現のため、取り組みを続けてまいります。

■原信桜町店ベーカリー部門「さくらんぼ」サークル 新潟県知事賞受賞

テーマ「たっぷり4種のチーズパンの製造不良
個数を削減しよう」

2020年10月に「第6269回新潟地区QCサークル大会」が長岡で開催され、最高賞である「新潟県知事賞」を受賞しました。2015年
以来の新潟県知事賞となります。



「さくらんぼ」サークルのメンバー

■フレッセイ板倉店FES部門「百獣の猫」サークル QCサークル石川馨賞奨励賞受賞

テーマ「ギフト パンフレット商品の注文受付作業時
間の短縮」

2020年12月に「QCサークル石川 馨賞授賞式」が
沖縄で開催され、「石川 馨賞奨励賞」を受賞しました。
当社グループで5回目の受賞となります。



石川 馨賞奨励賞盾

■ナルスにしやま店カサブランカサークル、フレッセイ通町店FES部門チャレンジタイムサークル 金賞受賞

テーマ「安全を通して笑顔あふれる職場に!~ずっと元気に働
ける環境を実現したカサブランカの成長ストーリー~」

テーマ「何事も前向きにチャレンジ~自ら行動できるサークル
に成長したチャレンジタイムの歩み~」

2020年11月に開催された、第13回事務・販売・サービス部門
全日本選抜QCサークル大会において、「本部長賞金賞」を受賞
しました。原信ナルスグループは6年連続7回目、フレッセイ
は初出場で金賞を受賞しました。



受賞したサークルのメンバー

日本品質奨励賞 TQM奨励賞 授賞

2020年8月に審査が行われ、
トップ・経営層のリーダーシップ
により事業とTQMが密接に結
びついていること、改善活動が
組織のDNAとして定着している
ことなどが評価され、小売業とし
て初受賞しました。

※本賞は組織の現実に合ったTQMの実践を
通じて、厳しい競争に勝ち抜く企業に発展
することを狙いに(一財)日本科学技術連盟
によって設立された賞です。

2020年度 日本品質奨励賞授賞式

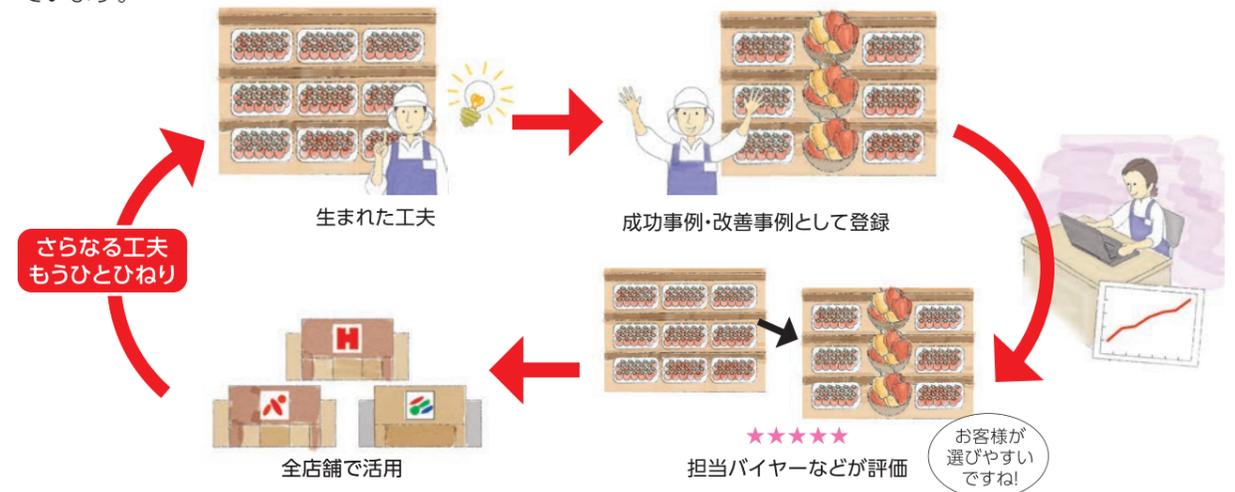


改善事例・成功事例

売場づくりを工夫し、成果のあった事例を「成功事例」と呼び、独自のシステムで全店舗に共有する仕組みを整備しています。共有することにより、独自のノウハウを全店へ水平展開しています。

同じ考えのもと、作業をより安全に、より効率よく行う工夫については「改善事例」と呼び共有しています。

事例の中でも特に優れた取り組みについては評価、表彰しており、従業員のモチベーションアップにもつながっています。

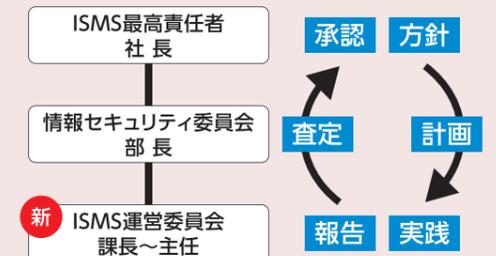


関連会社の取り組み

アイテックの取り組み「ISMSのレベルアップ」

アイテックは、認証を取得しているISO27001 (ISMS) の活動をさらにレベルアップするため、2021年1月よりISMS運営委員会を立ち上げました。

若手社員を中心に活動を進めることで、活動がより深く部門に浸透しました。





お買い物をより便利に楽しく

私たちは、日々進歩する様々な技術の活用にも果敢に挑戦し、お客様の利便性と生産性を飛躍的に向上させることを目指します。そしてテクノロジーの活用により、「ライフスタイルの変化への対応」と「生産性向上」を進めます。

原信ネットスーパー

パソコンやスマートフォン、原信ナルスアプリから原信の商品をお買い物できるサービスです。商品は午前中に担当者がピックアップし、その日のうちに新潟県内全域（離島を除く）へお届けします。

2020年にリニューアルを行い、より簡単な操作でお買い物ができるようになり、品揃えも一層充実いたしました。一般のお客様のみならず、業務用への対応も行っております。

お客様から掲載商品追加のご要望を承り、更なる品揃えの強化に取り組んでまいります。



ネットで予約

お寿司、クリスマスケーキ、恵方巻などのご予約や産地直送ギフトの発送を、パソコンやスマートフォン、原信ナルスアプリから簡単にご利用いただけます。

ご予約商品につきましてはネット予約限定クーポンを商品お渡し時に贈呈しております。また夏と冬の期間限定のギフトに加え、1年間を通してご利用できるギフト商品も充実しました。

フレッセイでも産地直送ギフトの取り扱いを予定しています。



原信ナルスアプリ

チラシやオリジナルレシピの閲覧、お買い得クーポンや原信ネットスーパーの利用など、簡単な操作で利用できるアプリです。スマートフォンを活用したお客様のお買い物がより便利で楽しくなる機能や企画の提案、お買い得な情報発信を行っています。

フレッセイアプリ

2019年度末にリリースした「フレッセイアプリ」を更にバージョンアップしました。要望の多かった「保有ポイントの表示」をリアルタイムで実現、自社サイトとして「Myフレッセイ」を開設し、過去のポイント履歴が確認できるほか、商品情報やお得情報の発信を強化しました。

アプリのダウンロード

android & iPhone ▶



個人情報の登録がないので設定が簡単です。



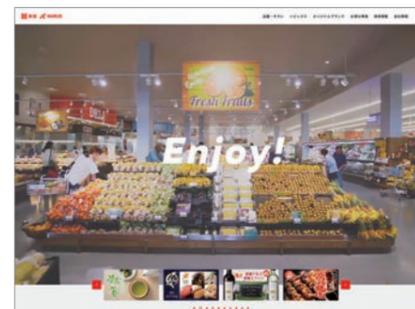
アプリのダウンロード

◀ android iPhone ▶



ホームページリニューアル

ホームページが新しく生まれ変わりました。デザイン・配列・機能の見直しのほか、採用サイトを一新しました。閲覧方法もパソコンからスマートフォンに変わってきており、メインのチラシ掲載をスマートフォンに最適なサイズにすることで飛躍的に閲覧数が伸びました。今後もお客様に有益な情報発信をしていきます。



原信・ナルス ホームページ

<https://www.harashinnarus.jp/>



フレッセイ ホームページ

<https://www.fressay.co.jp/>



電子決済の導入

原信とナルスではキャッシュレス決済の多様化、QRコード決済の普及に合わせ、「PayPay」を全店舗で導入しています。またフレッセイでも一部店舗で導入しており、現在のユーザースキャン方式（お客様がコード読み取り、お支払い金額入力）での決済から、ストアスキャン方式（お店がコード読み取り）へ移行を予定しています。移行により決済処理が簡略化され、利便性がさらに高まります。

原信とナルスではd払いもご利用いただけるようになりました。今後もキャッシュレス決済拡大への対応、より便利なお買い物環境づくりを進めてまいります。



インスタフォトコンテスト

原信とナルスでは、お客様からも参加いただく企画として、インスタグラムを利用した季節イベント連動のフォトコンテストを開催しています。※「Instagram」は、Instagram,LLCの商標または登録商標です。



ダイバーシティの推進

私たちは、多様な価値観を有する幅広い人材を確保し、その能力を最大限発揮してもらうことで、イノベーションを創出し、価値創造につなげるダイバーシティ(従業員の多様性)を推進しています。その人が持つ能力や人柄で雇用を決定し、人材の多様化を目指します。

女性の活躍

アクシアル リテイリングの従業員は女性が7割以上を占めています。体力的な面で「男性しかできない」「女性だからできない」をなくすため、作業環境や機器を整え、男女共に仕事をしやすい環境を実現しています。

店長、チーフバイヤーなど女性管理職も活躍中です。女性ならではの“気づき”が商品や売場づくりに反映されています。

従業員の声

店長として

入社してレジ部門、デイリー部門、店次長を経て、店長になりました。その間、結婚、出産、育児とライフスタイルが変化していきましたが、もともとの楽観的な性格や周りの方々のフォローもあり、「何とかなる」の精神で、充実した日々を過ごしています。

気張り過ぎず、でもやるべきことは遂行し、皆さんが笑顔で出社できる店づくりを目指します。



原信 村上西店
店長 相之俣晃子

アシスタントチーフ制度

働き方

アシスタントチーフは、パートナー社員の中から店舗の必要性に応じて会社から任用されている1日6時間勤務のチーフです。チーフ不在時にはレギュラー社員同様、部門運営を行います。

制度・人数

アシスタントチーフ制度は、定められた資格等級と技術レベルに達したパートナー社員に“部門責任者”として活躍していただく制度で、任用後は時給にアシスタントチーフ手当が加算されます。

2020年度ではアクシアル リテイリング全体で14名がアシスタントチーフに任命され、在籍者数は累計300名に達し、活躍の場を広げています。



原信 錦町店 FES部門
吉田明日香

入社年月: 2015年7月
アシスタントチーフ着任年月: 2020年4月



ナルス 柿崎店 デイリー部門
市原千秋

入社年月: 2001年7月
アシスタントチーフ着任年月: 2015年10月



フレッセイ 児玉店 ベーカリー部門
小茂田智美

入社年月: 2016年7月
アシスタントチーフ着任年月: 2019年10月

レギュラー社員へのチャレンジ

年1回行われる区分変更試験を受験し合格することで、パートナー社員からレギュラー社員へ区分変更する制度があります。2000年から制度が運用され、これまで89名(2021年3月末時点)の方がレギュラー社員に転換し、店長や部門チーフとして活躍しています。



原信 シブクワ店
ベーカリー部門 内山久美子

2008年3月に原信 来迎寺店入社
2021年3月よりレギュラー社員として活躍



フレッセイ クラシーズ連取
畜産部門 遠藤浩輝

2014年4月にフレッセイ 駒形店入社
2020年4月よりレギュラー社員として活躍

外国籍社員の活躍

従業員の採用にあたり、国籍や出身地、性別に関係なく、その人の持っている能力や人柄で採否を決定し、人材の多様性に繋げています。現在グループ全体で6名の外国籍社員がレギュラー社員として活躍しています。

また、フレッセイでは2015年から外国人技能実習生を受け入れています。現在では85名の技能実習生が店舗の水産・惣菜・ベーカリー部門で活躍しています。

関連会社のローリーでも外国人技能実習生35名、1号特定技能外国人*が5名活躍しています。店舗に供給する精肉、水産、惣菜、ベーカリー部門の一部商品の製造に携わっています。

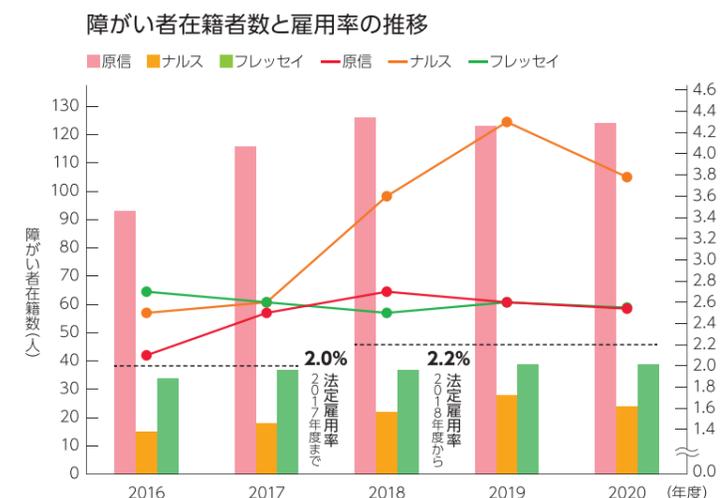
*1号特定技能外国人: 特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験を必要とする技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格を取得した方。



青果部門で活躍する丹敏(左)とイデル ウランビレグ(右)

障がい者雇用

就業を通じて社会参加することで自立した生活を送ることができていることを目的に、地域や支援センター様と連携し、安心して長く働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。障がい者雇用率は全事業会社において法定雇用率の2.2%を上回っています。



関連会社の取り組み

株式会社フレッセイヒューマンズネットの取組み

フレッセイヒューマンズネットでは、障がい者の雇用と高齢者の雇用に取り組んでいます。早朝補充業務においては、店舗ごとに高齢者を中心としたチームを編成し、開店前に商品の補充陳列作業を行うことで店舗作業の支援をしています。早朝・短時間・ルーチンワークのため、高齢の方にも始めやすく、地域の方が多数活躍をしています。



早朝補充業務での補充陳列作業



ダイバーシティの推進

シニア人材の活用、再雇用制度

原信とナルスでは、シニア嘱託、シニアパートナー社員の定年後再雇用の限度年齢を70歳に引き上げ、健康で働き続けられるように環境を整えています。また、アルバイトの再雇用限度年齢を75歳とし、働く意欲のある方が活躍できる場となっています。

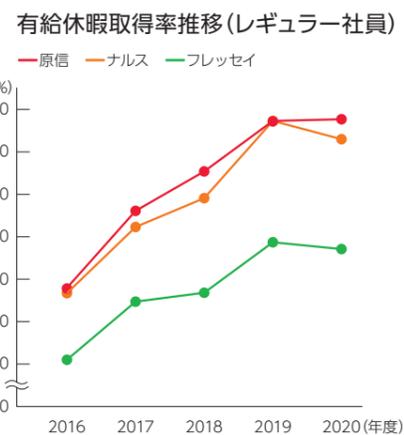
またフレッセイでもレギュラー社員は60歳定年後65歳までエルダー社員(嘱託社員)として働くことができ、65歳からはシニアアルバイトとして活躍しています。

有給休暇の取得しやすい職場

原信とナルスでは、2018年10月より「半日有給休暇制度」を導入しました。個人の状況にあわせて有給休暇を1日・半日を選択できることで、さらに取得がしやすくなりました。またフレッセイでは記念日での取得を推奨しています。

この結果、原信とナルスではレギュラー社員の有給休暇取得率が77.2%、フレッセイでは47.1%となりました。

(新型コロナウイルス対応の慰労として付与した特別休暇(1日)は数値に含まれておりません。)



よりお買い物しやすいお店に

私たちは、地域の食生活を担う企業として、女性、子供、高齢者、障がい者などすべての人々が快適にお買い物ができ、日々の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを提供できるスーパーマーケットを目指します。

思いやり駐車場への共感看板の設置

2017年5月よりフレッセイでは、思いやり駐車場に車いすや杖を利用する方の笑顔の写真に「空けてくれてありがとうございます」との感謝の言葉を添えた共感看板を設置しております。

この導入は群馬県では初めての取り組みとなり、健常者による駐車場の抑止に一定の効果が検証されたことから、栃木県、埼玉県の店舗も含め35店舗に93台設置しました。また原信の一部店舗にも設置しました。



共感看板

デマンド型乗合いタクシー

フレッセイでは、買い物・移動手段に課題を抱える地域の新たな交通手段としてのみだけでなく、地域貢献・経済活性化に繋がる事業である、定額制の新しい交通手段ラクシーに賛同し、館林店をラクシー停留所として登録しました。

ラクシーとはご自宅前または、指定停留所から指定停留所までの乗合い送迎サービスです。



ラクシー



食品ロスを減らす

私たちは、データ・技術を活用することで、フードサプライチェーン全体の食品ロス削減を目指します。

食品廃棄物の発生抑制

データに基づいた商品製造数・発注数の決定、週中での計画の見直し、研修による商品作りの技術向上などにより、食品廃棄物をできる限り発生させないように努めています。

原信とナルスでは、環境マネジメントシステムの環境目標に「食品廃棄物の発生抑制」を掲げ、廃棄率(売上金額に対する廃棄商品金額の割合)を管理項目に定め、低減をすすめています。2020年度は2019年度比0.08ポイント減の0.27%に改善しました。



季節商品の"もったいない"削減

恵方巻など、季節で拡販する商品については、確実にご購入いただけるお客様を増やす取り組みをすすめています。2020年度はご予約特典が例年以上に充実いたしました。さらに、販売期間中は各店舗の商品数量の過不足を把握し、商品を店舗間で移動させることで、食品ロスを減らしています。



循環ループで資源を守る

私たちは、食品廃棄物(廃食用油を含む)のリサイクル率100%を達成することで、循環型社会の実現を目指します。

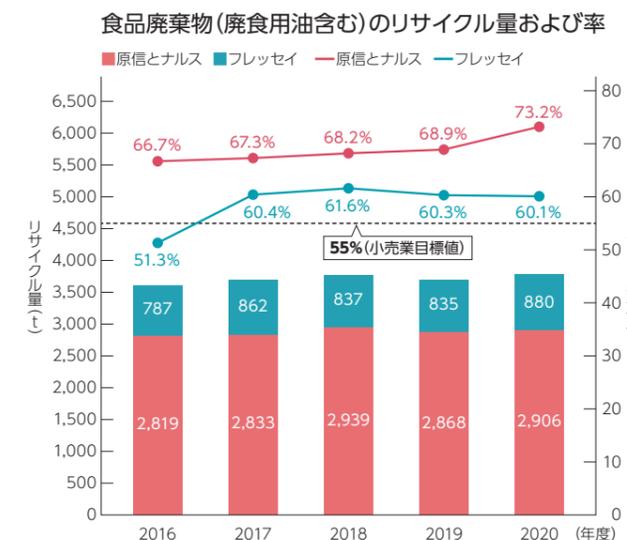
食品廃棄物のリサイクル

発生した食品廃棄物はリサイクルをしています。堆肥や飼料、燃料など新たな資源に生まれ変わっています。2020年度は新たに1社とリサイクルの取り組みを開始いたしました。

リサイクルループの構築

店舗から排出された食品廃棄物を堆肥などにリサイクルし、その堆肥を使って栽培した野菜を店頭で販売するという循環型の取り組みを行っています。

原信では、このようなリサイクルの環を構築し、再生資源を有効に活用する計画「再生利用事業計画」が3件認定されており、地域での資源循環に貢献しています。





気温上昇を抑える

私たちは、事業活動に伴って排出されるCO₂を削減することで、地球温暖化の抑制を目指します。

太陽光発電

フレッシュでは、2020年から第三者保有のオフグリッド発電システムを試験導入しました。

オフグリッド発電システムとは、店舗の屋根に太陽光発電設備を設置し、その店舗で消費する電力の一部を自給自足するものです。太陽光発電を設置した店舗では、消費電力の15%前後を自然エネルギーの太陽光でまかっています。

太陽光発電による自家消費は、コストの削減だけでなく、温室効果ガスの排出量削減による地球温暖化防止という側面からも重要な取り組みと考えています。現在14店舗に設置していますが、今後も効果を確認しながら取り組みを進めてまいります。



店舗の屋根に設置した太陽光パネル

自然冷媒ショーケース

オゾン層を破壊するとして特定フロンが規制され、新たな冷媒として代替フロンが普及しました。しかし、代替フロンは高い温室効果を有することから、冷媒が大気中に放出された場合、地球温暖化に影響を及ぼすと言われています。

アクシアル リテイリングでは、ショーケースに使用されているフロンの漏えいを管理するとともに、ケース自体も見直し、順次、自然冷媒を使用したものに変更をしています。

2020年度はあらたに16店舗で入れ替えを行いました。導入店舗数は44店舗にまで拡大をしています。



自然冷媒を使用したショーケース

関連会社の取り組み

原興産の取り組み

「洗浄機稼働に伴うCO₂排出量の削減」

原興産では店舗にて繰り返し使う折りたたみコンテナ、買物カゴを洗浄機により洗浄しています。

2020年5月の洗浄機増設にあたり、排ガス熱をボイラー給水と熱交換するものを導入いたしました。

熱交換することにより、重油使用量を削減できるとともに、CO₂排出量の削減にも貢献しています。今後も地球温暖化防止を意識した事業活動を展開していきます。



新たに導入した熱交換装置



ムダなプラスチックを減らす

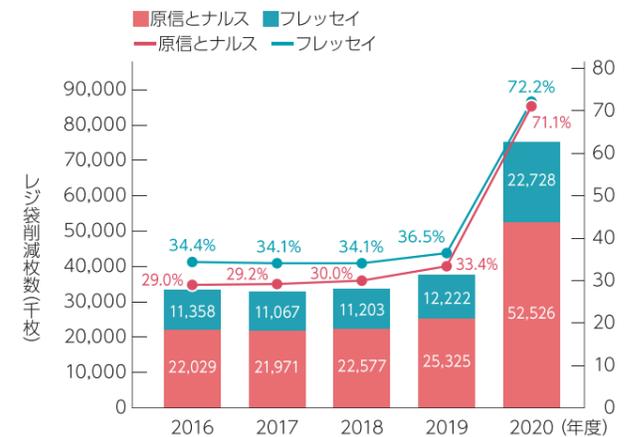
私たちは、海洋ゴミの中でも世界的な問題として注目されてきたプラスチック素材の適正利用を目指します。

レジ袋の3R

レジでの袋詰めサービスにより過剰なレジ袋のお渡しを抑制しています。レジ担当者がお買い上げ量に応じた袋に商品をお詰めすることで、必要以上にレジ袋を使用しないようにしています。

他にも、アクシアル マイバスケット、フレッシュ マイバスケットでお買い物することでレジ袋の使用を削減する「リデュース!レジ袋」。一度お使いいただいたレジ袋を次回のお買い物の際にもう一度ご持参いただき、袋詰めをすることで、レジ袋50%削減を目指す「リユース!レジ袋」。不要となったレジ袋を回収し、環境活動紹介ボードなどへリサイクルする「リサイクル!レジ袋」を推進しています。

レジ袋削減枚数とレジ袋辞退率推移



スカスカ撲滅商品の販売

シジシージャパン様が2018年から推進している「スカスカ撲滅」運動に共感し、積極的に取り組んでいます。

「スカスカ撲滅」運動とは、中身に比べて容器包装材の体積が大きい商品について、無駄な容器包装を減らそうという運動です。ご家庭からの廃棄物の削減だけでなく、売場や配送の効率も向上します。

アクシアルブランド商品についても、容器包装の見直しを行っており、ウイナーの個包装を1つにまとめるなどの取り組みを実施しています。



容器包装の無駄をなくした商品

バイオマスプラスチックを使用した容器包装

レジ袋や一部商品の容器包装に植物由来のプラスチック(バイオマスプラスチック)を使用しています。バイオマスプラスチックの使用は、容器製造過程での石油資源の削減や、容器廃棄時のCO₂の排出抑制になるといわれています。



バイオマスプラスチックを使用したレジ袋

事業活動の環境影響

インプット

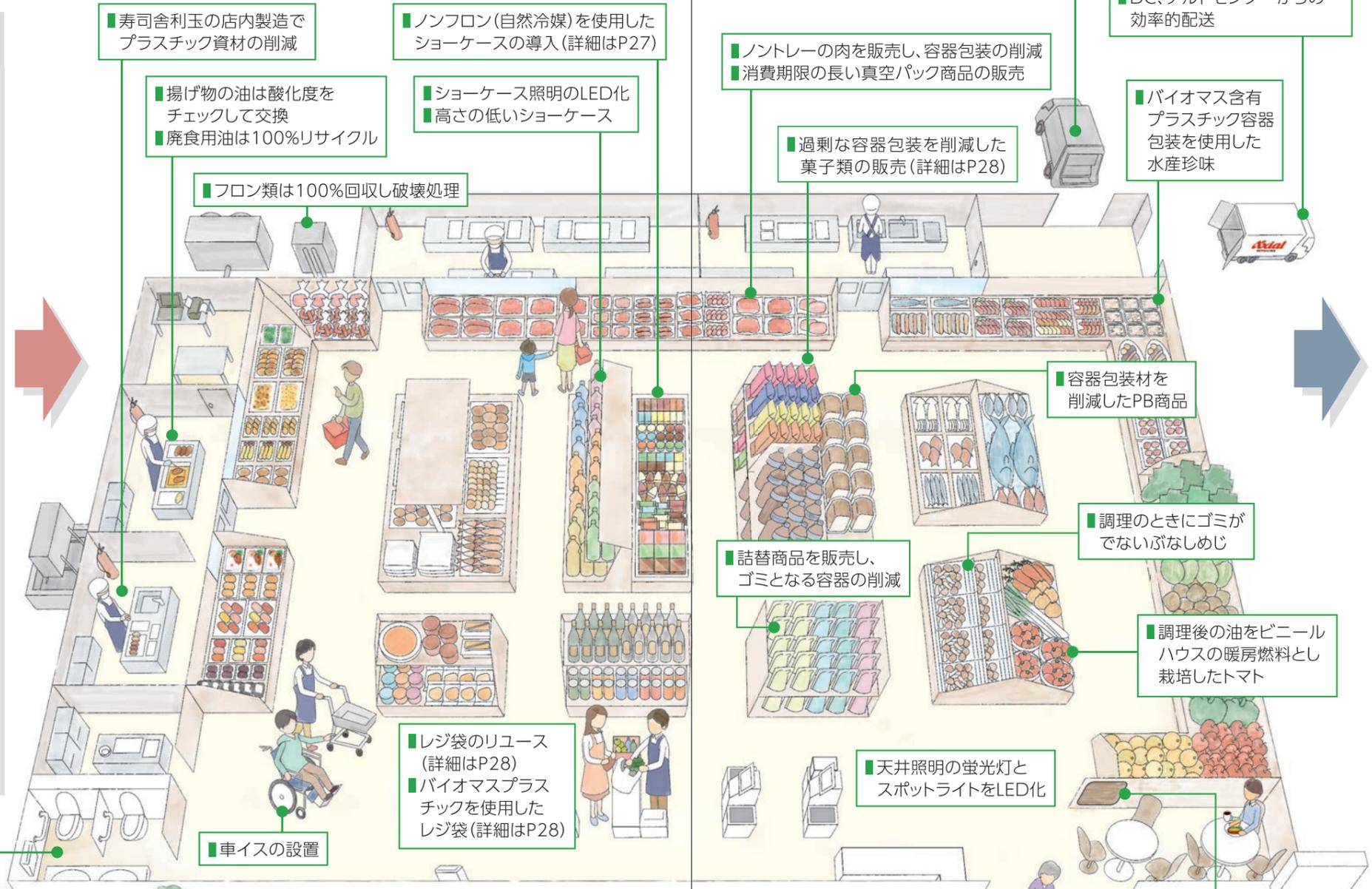
燃料 (石油類)
 重油 34kℓ
 灯油 237kℓ
 軽油 3,294kℓ
(配送車輛、自家発電)

電気
 190,480MWh
電力会社から購入し、使用した電力の総量

紙
 19t
本部で使用したコピー用紙、コンピュータ用紙の総量

水
 780,131m³

ガス
 447,275m³



アウトプット

排水
 780,131m³

CO₂
 108,847t
電気、ガス、燃料の使用に伴って発生した二酸化炭素の総量

産業廃棄物
 1,706t
再資源化率 77.8%
事業活動によって生じた廃棄物のうち「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
廃油	255	255
廃発泡スチロール	412	412
グリーストラップ汚泥	866	585
その他産業廃棄物	173	75
合計	1,706	1,327

一般廃棄物
 21,888t
再資源化率 74.1%
紙くず、段ボール、厨芥物など、事業活動によって生じた廃棄物のうち、産業廃棄物を除く廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
生ごみ	5,180	3,530
紙くず	3,880	91
不燃物	221	0
ビン	40	40
段ボール	11,881	11,881
アルミ・スチール缶	233	233
ペットボトル	453	453
合計	21,888	16,228

- 節水バルブ内蔵の便器
- 節水自動水栓の手洗い器
- オストメイト対応のトイレ
- 授乳室の設置

- 寿司舎利玉の店内製造でプラスチック資材の削減
- フロン類は100%回収し破壊処理
- ノンフロン(自然冷媒)を使用したショーケースの導入(詳細はP27)
- ショーケース照明のLED化
- 高さの低いショーケース
- ごみは地域にあわせて適正処理
- 食品残渣はリサイクル(詳細はP26)
- デジタルタコメーターの導入
- アイドリングストップの推進
- DC、チルドセンターからの効率的配送
- バイオマス含有プラスチック容器包装を使用した水産珍味
- ノントレーの肉を販売し、容器包装の削減
- 消費期限の長い真空パック商品の販売
- 過剰な容器包装を削減した菓子類の販売(詳細はP28)
- 容器包装材を削減したPB商品
- 調理のときにゴミがでないぶなしめじ
- 調理後の油をビニールハウスの暖房燃料とし栽培したトマト
- 詰替商品を販売し、ゴミとなる容器の削減
- レジ袋のリユース(詳細はP28)
- バイオマスプラスチックを使用したレジ袋(詳細はP28)
- 天井照明の蛍光灯とスポットライトをLED化
- 車イスの設置
- 省エネ型自動販売機の設置
- AEDの設置
- 太陽光パネルの設置(詳細はP27)

発泡トレー	透明容器	紙パック	ペットボトルキャップ	ペットボトル	レジ袋、ポリ袋
断熱材、発泡トレーなど	トレー・建築用・農業用資材	トイレトーパー	絵の具のキャップや育苗箱など	透明トレーなど	ゴミ袋、RPF(固形燃料)杭、環境活動紹介ボード
回収量 244t CO ₂ 削減量 1,481t-co ₂	回収量 499t CO ₂ 削減量 1,926t-co ₂	回収量 345t CO ₂ 削減量 170t-co ₂	回収量 82t CO ₂ 削減量 26t-co ₂	回収量 284t CO ₂ 削減量 950t-co ₂	回収量 8t CO ₂ 削減量 30t-co ₂

- センサー付きタイマーで無駄な電気の削減
- レジ袋をリサイクルした環境活動紹介ボードの掲示
- 紙パック、発泡トレー、透明容器、レジ袋、ペットボトルキャップの店頭回収
- 地方自治体からの要請地域ではペットボトルの店頭回収に協力
- 車イス、お子様連れ、妊婦の方専用の駐車場
- 段差のないバリアフリー対応
- 身体障がい者補助犬の同伴入店可能
- 介助が必要な時のインターフォンの設置

環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組みの内容	2019年度		2020年度	
		投資額	費用額	投資額	費用額
(1)事業エリア内コスト	—	320,669	492,671	179,017	513,446
内訳	(1)-1公害防止コスト	60,509	88,444	105,502	132,878
	(1)-2地球環境保全コスト	260,160	127,953	73,515	94,289
	(1)-3資源循環コスト	—	276,274	—	286,279
(2)上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料、レジ袋不使用2円引き費用	—	103,708	—	53,402
(3)管理活動コスト	ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、新店の緑地など	8,000	35,331	13,067	27,421
(4)研究開発コスト	—	—	—	—	—
(5)社会活動コスト	各種組合費など	—	76	—	50
(6)環境損傷対応コスト	アスベスト除去費用	—	385	—	34,850
合計	—	328,669	632,171	192,084	629,169

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2019年度	2020年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	192,562	190,480
	ガス使用量(千m ³)	418	447
	重油使用量(kℓ)	27	34
	灯油使用量(kℓ)	32	237
	軽油使用量(kℓ)	3,246	3,294
	水使用量(千m ³)	808	780
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	99,302	108,847
	廃棄物総排出量(t)	25,040	23,594
	廃棄物最終処分量(t)	6,515	6,039
	排水量(千m ³)	808	780
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	16	8
	紙パック回収量(t)	326	345
	発泡トレイ回収量(t)	238	244
	透明容器回収量(t)	447	499
	ペットボトルキャップ回収量(t)	84	82
	ペットボトル回収量(t)	266	284

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2019年度	2020年度
収益	リサイクル品売却益	60,320	17,130
	店頭回収品売却益	8,203	8,492
費用節減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	21,216	19,559
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	67,370	217,183
	合計	—	157,109

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

信頼の構築と平和な社会

私たちは、常に取り巻く社会環境の変化に適切に対応し、法令や社会規範を順守し、社会倫理に沿った企業活動を進めることで、ステークホルダーの皆様からの信頼をさらに高めます。また世界のすべての人が、平和な社会のもとで生活できることを目指します。

コーポレート・ガバナンス

■基本的な考え方

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、意思決定の迅速化と透明性・公平性の確保を図り、責任体制を明確化するとともに、法令や社会的規範の順守及び内部統制システムも含めた企業倫理の整備に努めることです。

経営における最も重要な事項は、地域のお客様に反復継続して店舗をご利用いただけるかであり、常勤の取締役は日常的に販売現場の実態を正確に把握すべく活動し、お客様の变化にいち早く対応できるようにスリムでフラットな経営管理組織を構築しています。

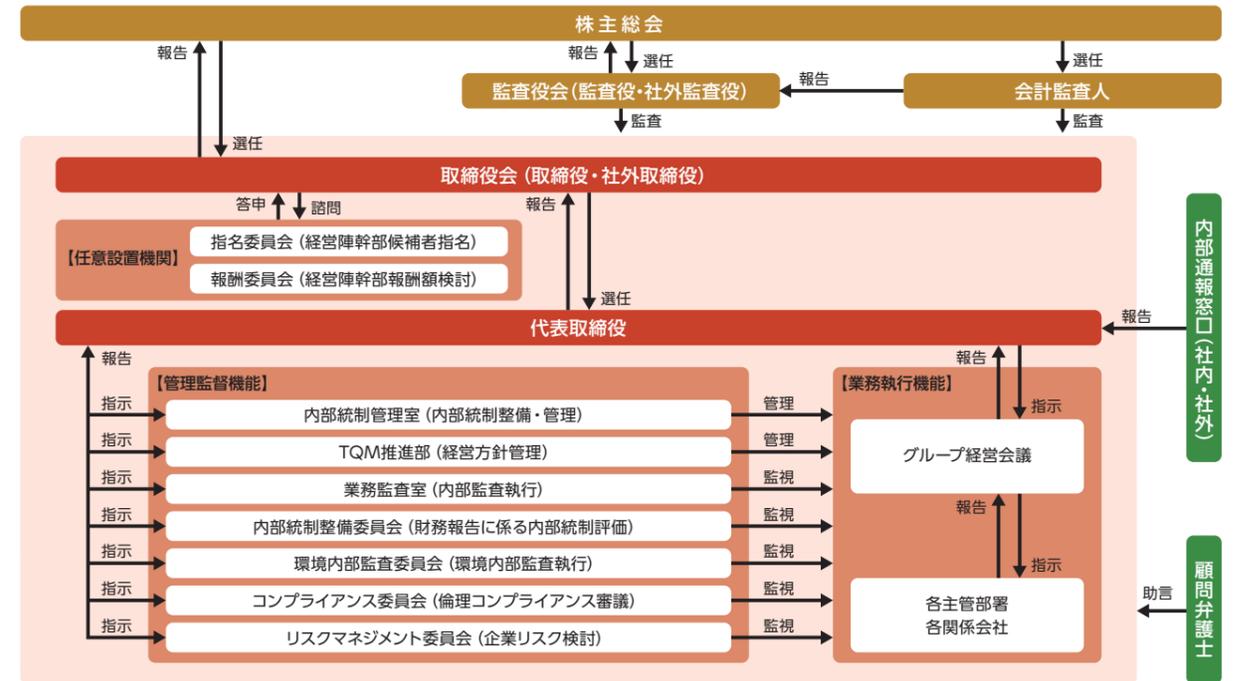
■現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要

経営に関する意思決定と業務執行の役割を明確化し、企業集団全体の業務執行体制について、迅速かつ機動的な経営戦略の実現を図るとともに、責任を明確化しコーポレート・ガバナンス体制を強化することを目的として、2007年5月より執行役員制度を導入しています。

■コーポレート・ガバナンスについてはこちらから
<https://www.axial-r.com/ir/cg>



コーポレート・ガバナンス体制についての模式図



地域のお祭り協賛

アクシアル リテイリングでは、出店地域のお祭りに協賛をしています。世界平和の実現を願い、日本三大花火大会のひとつである『長岡まつり大花火大会』では原信提供正三尺玉三連発を打ち上げています。この花火は、「平和」「慰霊」「復興」の象徴でもあります。(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止)



正三尺玉三連発(合成写真)

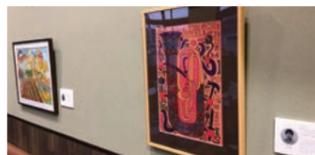


みんなでゴールを目指そう

私たちは、社会の課題を解決するため、お客様やお取引先様をはじめ、あらゆるステークホルダーの皆様と連携協力を構築しながら、SDGsの17の目標達成を目指します。

原信ミュージアム

原信では「まちごと美術館CotoCoto(ことこと)様とコラボレーションさせて頂き、障がいがある人のアート作品をカフェコーナーで展示する「原信ミュージアム」を開催しています。(新潟市・長岡市・村上市・柏崎市に計9店舗)



原信ミュージアム

■まちごと美術館CotoCoto(ことこと)様コラボショッピングバッグプレゼント

2020年7月に、原信ミュージアムで展示している障がいがある人のアート作品をデザインしたショッピングバッグを製作し、40,000名様にプレゼントしました。



新潟県庁への表敬訪問での取り組み報告

災害協定

フレッセイでは群馬県以外の自治体では初となる栃木県佐野市と2021年1月に災害協定を締結しました。また翌2月には国土交通省高崎河川国道事務所と相互に協力して、災害時における群馬県内の国道の立ち往生車両に対して行う、支援物資の供給協定を締結しました。

また原信とナルスでは、新潟県と富山県内の9市と災害協定を締結しています。



災害協定締結の県・市

救援金の寄託

被災された皆様の早期復興に役立てていただくため、救援金を寄託しました。

■令和2年7月豪雨

お客様よりご協力いただいた募金にアクシアル リテイリンググループからの寄付を加えた総額400万円を被災地である鹿児島県や熊本県に寄託しました。

■足利市山林火災

フレッセイでは300万円を栃木県足利市に寄託しました。

地方自治体への寄付

原信は各地方自治体の事業に賛同し、寄付を実施いたしました。

■新潟県南魚沼市の景観形成による観光振興を主目的とした無電柱化事業に賛同し、100万円を寄付しました。

■長野県安曇野市の地方創生と持続的発展に向けた取り組みの趣旨に賛同し、300万円を寄付しました。

原信ナルス会、フレッセイ共栄会

お取引先様と、より一層の共存共栄を図り、発展に向け研鑽し、地域のお客様の生活により大きな貢献を図ることを目的として、原信ナルス会、フレッセイ共栄会をお取引先様とともに設立しています。

(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止)

〈アクシアル リテイリングのあゆみ〉

年	原信	ナルス	フレッセイ
1950			創業: 1850年(嘉永3) 植木文左衛門が海のない地域の方々においしい魚を提供したいという想いから、鮮魚塩干物の卸小売業「松葉屋」として創業。
1958			(株)松清本店設立 スーパーマーケット創業
1959			
1967	(株)原信 設立(スーパーマーケット創業)		
1974			主婦の店直江津店開設(スーパーマーケット創業)
1979	CGCグループ加盟		CGCグループ加盟
1983	TQC導入		商号を(株)ナルスに変更
1988	新潟証券取引所に上場		
1990			新・ロゴマークの採用
1991	原信・福屋・こたやの3社合併、新生原信誕生 TQCを軸としたHTS活動開始 「原信サマースカラシップ」スタート		
1992			ナルス ロゴマーク(1990年～)
1996	中之島物流センター開設		フレッセイ ロゴマーク(1992年～)
1997	新・ロゴマークの採用 長期ビジョン「2010 VISION」策定	原信 ロゴマーク(1997年～)	フレッセイ ロゴマーク(1992年～)
1999	レジでの袋詰めサービス開始		フィック FIC活動(フレッセイ改善活動)キックオフ
2000	東京証券取引所2部に株式上場 環境マネジメントシステムISO14001認証取得		
2001	ニューコンセプト導入(簡単便利+もっと豊かにをコンセプトとした店舗づくり)		フレッセイポイントカード全店導入
2003	はらしんカード(クレジットカード)取り扱いスタート		ナルスカード導入 フレッセイカスタマーカード導入
2004	7・13水害(2店舗浸水) 中越地震発生(44店舗中22店舗被災、3店舗閉鎖)		アップグレード型業態出店
2005			障害者雇用優良企業 厚生労働大臣賞受賞
2006	HTSをTQMに名称変更(ナルスTQM活動スタート) 株式会社ナルスと経営統合 原信ナルスホールディングス株式会社を設立		アップグレード型業態として初出店した「クラシード若宮」店内
2007	東京証券取引所1部に指定替え 第1回原信ナルス会開催 中越地震発生(7店舗被災)	原信ナルスホールディングス ロゴマーク(2006年～2013年)	キャリア教育文部科学大臣賞受賞
2008	ナルス ISO14001認証取得(適用範囲の拡大) 上越物流センター開設		
2009	長期ビジョン「Advanced Regional Chain」策定		
2010	ニューコンセプトII(NCII)スタート(毎日の食生活を豊かに楽しくする提案のできるスーパーマーケットづくり)		
2011	東日本大震災発生(PB商品1個につき1円を被災地に寄付する「まごころの1円プログラム」) 原信ネットスーパースタート 新潟県優良リサイクル事業所表彰受賞		株式会社フレッセイホールディングス設立
2012	川崎店グロスリ部門「抹茶ラテラテサークル」がQCサークル石川馨賞を初受賞	アクシアル リテイリング ロゴマーク(2013年～)	ミツ MITHS活動(QCサークル)スタート 移動販売車「フレッシュー便」介護施設や団地巡回開始
2013	株式会社フレッセイホールディングスと経営統合し、アクシアル リテイリング株式会社を設立 3R推進功労者等表彰会長賞受賞 原信ナルス中之島DC開設		TQM活動スタート
2015	紺綬褒章受章(関東甲信地区大雪災害における群馬県への義援金寄付により) ニューコンセプトII+(NCII+)スタート		
2016	株式会社格付投資情報センターより格付け及び方向性 A-(安定的)に格上げ		前橋物流センター開設
2017	原信 スーパーマーケット創業50周年		群馬県食育推進活動優良企業表彰受賞
2018	代表取締役社長原和彦がQCサークル経営者賞を受賞 ローリー中之島プロセスセンター開設		フレッセイ スーパーマーケット創業60周年
2019	ナルス スーパーマーケット創業60周年		
2020	グループ新ビジョン「Enjoy! Axial Session♪」策定 日本品質奨励賞 TQM奨励賞受賞		
2021	原信・ナルス 第1回新潟SDGsアワード大賞受賞		